



本格的な降雪期を迎えます

今年も初雪が確認され、本格的な冬を迎える季節に入りました。この後は、積雪や気温低下にともない、自動車が夏場以上に急には止まらない道路状況になることが予想されます。

子どもたちが自分の命を自分で守れるよう、ご家庭でも次のことについてご確認いただき、お声掛けくださいますようお願いいたします。

- 登校時、時間に余裕をもって自宅を出ること（時間の余裕が心や行動の余裕につながります）
- 降雪、路面凍結に対応できる履き物を履くこと
- 左右、前後に加え、場所や状況によっては凍結・落雪に対応するため、上下にも気を配ること
- 一時不停止や、急な横断をしないこと
- 信号が青であっても、自分の目で左右の安全を確認してから横断すること（青に変わった直後の横断はとても危険です）

なお、登校時の角館建設工業株式会社向かいの旧ボウリング場跡地駐車場内での降車は、業務に支障を来す場合があるとの指摘を受けております。別の安全な場所で生徒を降ろすようご理解とご協力をお願いします。

「お気に入りのかくのだて展」

生徒たちが誇りに思っている本校の取組の一つに、「ふるさとスケッチ」があります。長引くコロナ禍のため、今年も10月19日（水）に自分が描きたいお気に入りの風景をタブレット端末で撮影し、美術の時間にその画像を見ながら葉書サイズの画面に、自分ならではの表現で心を込めて描きました。

1年生は校舎周辺、2年生は桧木内川堤周辺、3年生は武家屋敷周辺のお気に入りの一コマを作品として完成させました。全校生徒のその作品を12月20日（火）～1月22日（日）の期間、平福記念美術館カルチャールームに「お気に入りのかくのだて展」として展示します。

ぜひ、会場に足を運んでいただき、子どもたちの渾身の一枚をご覧くださいませようお願いします。

なお、1月25日（水）までは、児童生徒県南美術展も同時に開催中で、No.24で紹介させていただいた本校生徒の作品も展示されています。

あるコラムから

10月31日、秋田魁新報のコラム「きょうの言葉」に、生徒会サブテーマ - 切り拓こう煌めく道 - につながるヒントになりそうな内容がありましたので紹介します。

夢にも見なかったような、 とんでもない大成功を収めた自分を想像しよう

「ジグザグに考えよう」から

「ジグザグに考えよう」はアメリカの心理学者キース・ソーヤーが執筆した自己啓発本だ。

ソーヤーはまず、5年後の自分がどんな職に就いていて、どれだけ大きな成功を収めているかを、できるだけ具体的に想像しろという。その後で、こんどは雑誌の記者になったつもりで、大成功した自分にインタビューしてみる。「目標を達成してよかった点は何か」「なぜその目標を選んだのか」「途中でどんな壁に突き当たったか」「誰に助けてもらったか」……。こうすると、実際に成功するにはどうすればいいかが見えてくるといふのだ。

確かに、「いつか成功を収めたい」という願いは、漠然とし過ぎていて、それを自身へのインタビューという形で言語化すると、どれだけの努力と準備が必要かが明確になる。

5年後という、長すぎず短すぎずな時間の設定もまた絶妙だ。5年以内での具体的な行動が思い浮かばないとすると、その目標はかなわない可能性が高いだろう。期日までの日数から逆算し、毎日のノルマを割り出すことで、必要な努力の質と量も具体的に分かる。そうなれば一歩ずつ着実に、成功に向かって歩を進めることができるようになるはずだ。

（翻訳家・矢口 誠）

設定は5年後にこだわらなくてもよいのかもしれない。大切なのは、成功を収めた自分自身へのインタビューという形で言語化することのようです。もうすぐ新しい年を迎えます。新年や将来の“なりたい自分”に向けて、試してみる価値がありそうな気がします。

受賞の記録

◇第50回JA共済秋田県小・中学生交通安全ポスターコンクール
○銅賞

K.A さん
K.M さん

○佳作
S.Y さん

出場種目成績（順番は実施順）			
◎50M平泳ぎ			
6年女子	第9位	小松紗雪	1分06秒43
6年男子	第14位	池田碧威	55秒97
6年男子	第9位	菊地航輔	52秒30
◎50Mバタフライ			
6年女子	第4位	小松紗雪	58秒84
◎50M背泳ぎ			
6年男子	第3位	菊地航輔	49秒93
◎50M自由形			
3年女子	第4位	斎藤日菜子	1分00秒54
5年女子	第16位	大庭 咲	53秒69